

正覚寺だより

スジャータ

73

令和5年(2023)

元旦発行

スジャータとは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に牛乳で作ったお粥を供養したインドの女性の名前である

短期集中 仏教講座

ごじゅうそう でん 五重相伝

令和5年11月3日(祝・金)より3日間

浄土宗開宗850年

3月までのおもな行事



庫裡玄関の人形

[住職のつぶやき]

行雲流水

— 旅と人生を楽しむコツ —



[住職のつぶやき]

行雲流水

— 旅と人生を楽しむコツ —

住職／山縣 正紀



(1)

かつてインドや中国の仏教遺跡へお参りする旅に何度か出かけた。原因がよく分からないまま飛行機や列車が遅れることがよくあった。時には欠航や運休で、その後の旅程変更を余儀なくされたこともあった。

目的地を訪れることが出来なかったり、予定とは違うホテルに泊まられたこともある。

天候などによっては、先進国や今の日本でも起こりうることだ。

そんな時でも楽しく旅を続けるためには、

「残念だが、諦める」
ことである。

当初の予定に余り執着せず現実を受け入れる。旅を楽しむためのコツの一つで、人生もちょっと似ていると思う。

知人のT氏に許可を得て、かつて彼が書かれた文章から抜粋して次に引用させて頂いた。

(2)

失敗、挫折、落第などでやられてもやり返す強い気持ちを持つ私の今までの苦い経験を思い出して書いてみます。

まず小学校の時、工事中の穴に落ちて左足を22針縫うケガをやらかし、海

洋少年団では在来線で青森まで行かされて、手旗信号の検定試験に落ちました。

そして中学受験に失敗して、何気ない顔で近くの某公立中学に進学しました。

高校入試の前には海上自衛隊を受験しましたが、一次試験で不合格でした。少し油断してたかも知れません。だがリベンジで防衛大学校を目指すことはありませんでした。

やがて高校生活が始まりましたが成績は超低空飛行を続けて、なんと2年の時に倫理社会と数学は落第とのことでした。

3年になった時にバイクで事故をやらしました。事故自体は相手の過失でしたが、事後が大変でした。内緒でバイクを所有し、自動二輪の免許も取得していたのです。

この事故で労災病院に1カ月入院しました。全身打撲、火傷のため皮膚移植を行い、尿道に管を入れ足を吊っていたので、入院生活はかなりしんどかったです。

退院すると家庭裁判所から保護者同伴での出頭を命じられ、学校にも報告する必要があり停学処分を受けました。

大学受験もかなり苦勞しました。お恥ずかしいのですが、各地の大学を多数受けましたが広島^の学校^のみの合格でした。

自分の書いた往復ハガキで不合格の通知を見るのはつらいものです。そして悩むこともなく、浪人する勇氣もなくそこへ進学しました。

その大学へもあまり行かずに留年してしまい、卒業に少し時間がかかりました。

まあダメでも縁がある方に流れる、これで良いのだと還暦を迎える歳になって感じています。

(3)

この文章を微笑^{ほほえ}ましく読ませて頂いた。書かれたT氏の中々タフな青春時代が偲ばれる。

今では会社経営に精進され、立派な社会人として多方面で活躍されている。

「行雲流水^{こううんりゅうすい}」

とは、

「行く雲の如く、流れる水の如し」

何事にも強く執着しないで、あるがままに受け入れて行く生き方である。

時代や社会、そして我が人生すら自分の思い通りには行かない。将来を予測することも難しい。

あのイチロー選手は、
「夢がすべて叶うわけではない」
と講演の中で話されるそうだ。



「雨が降ったら天気は悪い」

「兄貴は必ず歳が上」

当然のことだが自分で変えることが出来ない事実には、あまり固執しないで次善の行動を取ることも必要であろう。

人として決して許せない程の嘘や裏切りでも、受け入れなければ生きていけない時もある。

「行雲流水」

という仏教的な思考は決して消極的な生き方ではなく、とても強^{したた}かである。

もちろん世の中には、拉致問題など必ず解決しなければならない事柄もある。



謹賀新年

令和五年元旦

住職
画

正覚寺だより「スジャータ」は年頭の賀状も兼ね、全檀信徒にお送りしますので、昨年ご不幸があったご家庭にも年賀として届く失礼をお許し下さい。

—短期集中仏教講座—

ご じゅう そう でん
五重相伝

戒名を授与いたします

今回は
**3日間の
開催です!!**

令和5年11月3日(祝・金) 4日(土) 5日(日)



法話を聴く参加者

「五重相伝」あれこれ

Q 「ごじゅうそーでん」って ナニ ???

- 専門のご講師（かんかいし勸誡師という）を招いて、仏教、浄土宗の話聞いて頂くのがおもな内容です。
- 身近な話題を中心に、初めての方にもご理解頂けるような親しみやすい連続の法話です。
- 一緒にお経を読み、お念仏を称え、先立たれた大切な方の戒名を呼んでご回向します。
- 「お髪剃り」の作法をうけて頂き「かいみょう戒名」「けさ袈裟」「じゅず数珠」などを授与いたします。
- 浄土宗檀家の方は、生涯に少なくとも一度は参加されるべき講座です。

Q 1日 何時間するの ???

- 初日と2日目は休憩時間や昼食をはさみ、8:30から17:30まで行います。
- 3日目は16:00頃までです。

Q 何歳から参加するの ???

- 若い方ほど良いと思います。人生の最も大切な問題を先送りしないで早く解決し、心穏やかな人生を送りたいものです。
- 僅か3日間とはいえ、若くて元気な時の方が身体も楽です。

Q 仕事があるのに ???

- 祝日、土曜、日曜の3日間です。何とかありませんか？
- 人生、時には立ち止まることも必要ではないでしょうか？仕事を辞めてからでは遅すぎます。
- ご夫婦揃って、または家族、親戚の方と一緒に参加されるのが良いと思います。

Q メリットは ???

- 穏やかな気持ちになれるはずです。
- 自分を見つめ直す時間になると思います。
- 生きてゆくことが楽になるかも知れません。
- 元気な時から「戒名」がついて安心出来ます。

Q 2回目も OK ですか ???

- もちろん参加して下さい。2回目、3回目の参加者も多いです。
- 前回には7回目の方もおられました。
- 同じ観光地を再訪すると、1回目とはまた違った感想があるように、回数を重ねるごとに新たな気づきや感動があると思います。

Q 次の開催は いつ ???

- 毎年は出来ません。5年後の令和10年の予定です。
- 私が住職に就任して以来、5年ごとに開催して今回が7度目になりますが、全国の浄土宗寺院約7000ヶ寺の内、5年以内に定期的に開催している寺院は僅か50ヶ寺ほどに過ぎません。
- この数字から、五重相伝開催の難しさの一端をご理解頂けるかと思います。

Q 申し込みは、いつ ???

- 詳しい要項、参加費用、申し込み期限などは、春のお彼岸以降に改めてご案内致します。どうぞ、お申し込み下さい。

令和6(2024)年



- 法然上人が鎌倉時代に浄土宗を開かれてより、来る令和6年で850年を数えることとなります。
- 総本山知恩院では慶讃法要が営まれますので、久しぶりに京都への団体参拝を実施したいと思います。
- また正覚寺においても、建物内外の簡単な補修や整備など、記念事業として行いたいと考えています。
- 感染症が早く治まり、皆さんと共に開宗850年をお祝い出来る日が来ることを念じております。

3月までのおもな行事

○ どなたでもご自由にお参り下さい。一回限りのご参加でもかまいません。

1月	14日(土)	10:00~13:00	修正会と写経の会
		13:30~15:00	入門ヨガ
	21日(土)	10:00~12:00	土曜塾(住職の法話)
		13:30~15:00	入門ヨガ
2月	4日(土)	10:00~12:00	写経の会
		13:30~15:00	入門ヨガ
	18日(土)	10:00~12:00	土曜塾(住職の法話)
		13:30~15:00	入門ヨガ
3月	4日(土)	10:00~12:00	写経の会
		13:30~15:00	入門ヨガ



春のお彼岸

3月21日(祝・火)

■ 朝10時より

講師：大阪市・法蔵院

蒯安卓也 師



感謝録

誠に有り難うございました。大切に使用させていただきます。

屋内墓所「げんじょうでん還浄殿」のお供え物

- 野外のお墓に代わる納骨堂を、正覚寺では「還浄殿」と名付けています。
- そこへ皆さまがお供えになったお菓子や飲み物などは、お盆やお彼岸の法要後また普段の掃除の時などに、総てを一斉に下げています。
- 生菓子など廃棄する物も多いのですが、長い賞味期限の残っている物は、お供え物のおさがりとして縁のある老人介護施設と障害者福祉施設へ持参して使って頂いております。

残念なことが起こっています！！

- 皆さんがお供えになった物を、不謹慎にも勝手に持ち帰る輩やからが現れたのです。その現場にたまたま遭遇しました。
- 「生活に余裕がなく空腹だった」と話すので少しの飲食物を渡して、「こんなことは二度としないように」と諭さとしました。
- その人は決して認知症などではなくて元気そうな70歳なのです。
- だが同一人物が同じことをする現場に、また出くわしてしまったのです。
- 前回と同じように食べ物を持たせ諭したのですが、そこまでしてしまうその人の生きざまを思うと、とても悲しい気持ちになりました。

不審と感じられたらお知らせ下さい！！

- たまたま現場に2度遭遇しましたが、多分それ以外にもあったことと思われます。
- 皆さまがお供えされた物が無くなったり、不審なことはどうぞお知らせ下さい。
- ご心配をおかけ致します。身元などは把握しておりますので十分気をつけますが、今後も続く様であれば強い処置を取らざるを得ないと考えています。



お供え物のおさがり

3年ぶりに 大本山増上寺大殿にて 「東京法要」を勤めました

.....
今年は9月3日(日)に開催する予定です。

- コロナ禍のため2年間未開催でしたが、去年は9月4日(日)午後2時から勤めました。
- 首都圏在住の皆さまとの絆を深めるための法要です。
- 増上寺の背景には東京タワーがそびえていますが、その後ろに更に高層タワービルが建設中でした。良いのか悪いのか!? 首都東京の変貌してゆく速さにいつも驚きます。



令和4年 檀家会費・会計報告

(単位：円)

年会費・一口 3,000円
受付・11月末日まで随時

- 送金には郵便振替が便利です。
- 近くの郵便局にある振替用紙をご利用下さい。
- ご持参頂ければ、お彼岸などの法要の時にも受付けております。

檀家会費について

- 皆さまの正覚寺は法人であり、住職や特定の個人のものではありません。
- 住職や寺族(住職の家族)は、仏さまに仕え教化活動を行い、寺院の護持管理に勤める管理者であります。
- それを支えて下さっている檀家会費は会計報告の通り、正覚寺を護持してゆくための経費の一部に使わせて頂いております。
- 今年もご協力頂ければ幸いです。

令和5年 年回表	一周忌	3回忌	7回忌	13回忌	17回忌	23回忌	25 [※] 回忌	27回忌	33回忌	37回忌	50回忌
	令和4年亡	令和3年亡	平成29年亡	平成23年亡	平成19年亡	平成13年亡	平成11年亡	平成9年亡	平成3年亡	昭和62年亡	昭和49年亡

※25回忌は、される方が少ない方があります。

本堂正面 壁面の洗浄

- 壁面がかなり汚れ黒く見苦しくなっていたので、昨年高圧洗浄機での洗浄を行いました。
平成13年の芸予地震の後、ひび割れたモルタルを張り替えて再塗装しましたが、それからの経年劣化で汚れが目立っていたからです。
- 境内を囲む瓦葺きの塀と本堂の外壁は再塗装する時期が来ています。
屋内墓所「還浄殿」や庫裡にも補修の必要な箇所が目立ちはじめました。
- 開宗850年を迎える頃には行う予定ですが、この度の洗浄は、それまでの暫定処置として行ったことです。



老舗とんかつ店「天武蔵」 営業再開!!

- 火災で全焼した店から約70メートル東に仮店舗を設け昨年10月から、まずはテイクアウトのみで営業を再開されました。
- 3代目店主の木田^{きだのりお} 諒夫さんは、
「お騒がせして申し訳ない思いの中、さまざまな励ましを頂いた。いろいろ失ったけど技術は残っている」
「多くのお客さんにご来店頂けるように頑張っ、旧店舗跡での再建を目指している」と話しておられます。
- 諒夫さんの祖父である創業者の木田庄治さんは、正覚寺の総代としても永年ご活躍くださいました。
- 昨年4月にご逝去されたばかりのご尊父、2代目木田富季夫さんと共に西方極楽浄土から温かく見守り、これからも常に導いてくださることと思います。
- 皆さん!! 「天武蔵」のとんかつ、エビフライは絶品、美味しいですよ!!



3代目店主の木田諒夫さん
(中国新聞より転載)



発行所／〒737-0033 呉市寺本町2-1 浄土宗 正覚寺
でんわ／0823-21-6086 Eメール／shoukaku@orange.ocn.ne.jp
F A X／0823-22-9922 郵便振替／01300-5-13754